阿蘇市　高森町
南小国町　南阿蘇村
小国町　西原村
産山村

世界農業遺産

平成25年5月認定

阿蘇の広大な草原は、野焼き、放牧・採草という農業上の利用により千年もの長い間維持されてきたもので、この営みを通じて地域固有の文化、生物多様性、景観が形成され、今も多様で豊かな資源が守られている。

阿蘇の農業システム

多彩な農林産物

阿蘇は、農地改良の結果、トマトや米等**多様な農産物の生産**が盛んに行われています。また、小国杉は全国的なブランドとして知られています。

阿蘇の持続的な草原管理システム

野焼き→放牧→採草のサイクルにより、阿蘇独自の持続的な管理サイクルが確立されていることで阿蘇の草原が維持されています。

生物多様性と生態系機能

持続的な農業システムにより、阿蘇では、**数多くの希少種**が保存されています。

農業と関わりの深い伝統文化

阿蘇には**多くの農耕祭事**があり、阿蘇山火山による被害を鎮め豊作を願う人々の営みの様子が表されています。

優れた景観と水の恵み

阿蘇は広大なカルデラを形成し、**水源涵養機能**（草原、森林等）により北部九州の「**水がめ**」と呼ばれています。

世界農業遺産認定による効果

農林畜産業の振興

阿蘇産農産物等の消費拡大

- 県内外を問わず、阿蘇産農産物等の消費拡大を促進するため、様々なイベントを実施。
- 6次産業化に取り組む団体や農業遺産を活用した周知啓発・PRに取り組む団体へ支援を実施。

▲ベジフル感謝祭
▼産山村の甘酒「うぶあま」

- 東京都豊洲市場「豊洲場外マルシェ」への出展（R4）
- 福岡市福岡大同青果「ベジフル感謝祭」への出展（R5）
- 料理ソムリエ講師による料理教室「ベジフルクッキング」の開催（R5）
- アニマルウェルフェアで飼育した豚肉と阿蘇産高菜を使用した商品開発（R5）
- 産山村産の米で作る甘酒の販路拡大（R4）　など

草原・景観の保全

野焼き→放牧→採草サイクルの保全

- 野焼き再開に取り組む団体への支援を実施。
- 草原・景観維持にも寄与する繁殖あか牛導入への支援を実施。
- 採草活動や茅刈り活動についても支援を実施し、地域経済にも寄与。

▲草千里ヶ浜の野焼き

景観の保全

- 阿蘇の風物詩でもあった草小積み再生への支援を実施。

▲草小積み

- 野焼き再開支援：3牧野組合
- 繁殖あか牛導入支援：152頭
- 採草活動支援：約417ha
- 草小積み再生支援：78基

※過去3年分（R3～R5）の実績

交流の拡大

各種イベントによる交流人口の増加

- 交流人口の拡大を目的に、「阿蘇地域世界農業遺産フットパスコース」を作成。地元ガイドの協力もあり、阿蘇地域の景色や暮らし、文化を体感できるイベントを実施。
- 県内外におけるPR活動はじめ、執筆活動、クイズイベント等幅広く実施。

▲フットパスイベント
▼九州世界農業遺産フェア

- 新千円札発行記念として、北里柴三郎の出身地小国町でフットパスイベントを実施（R5）
- 九州世界農業遺産フェアへの出展（※）
- くまもと農業フェアへの参加（※）
- 大日本農会会誌「農業」における執筆（R5）
- 伊勢丹新宿ギフトセンターでの展示（R3）　など

阿蘇から世界へ

2025年大阪万博のパビリオンに

- 2017年から「阿蘇の茅材」の商品化と野焼きのリスク軽減を目的に「茅刈りプロジェクト」を実施。
- 2025年4月に開催される大阪万博のパビリオンに阿蘇産の茅が使用されることが決定しており、さらなる進展が期待される。

▲茅刈り説明会

▲茅刈り

▲大阪万博の効果